

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.33  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp)



市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！  
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

議会改革を目指して —

## 『議会制度定数・報酬等検討委員会』が発足



真岡市議会ではこの度、各会派の代表や当選期別の代表などが集まり『議会制度定数・報酬等検討委員会』が発足しました。

6月定例議会の開会日だった6月6日(月)に初会合が開かれ、委員会の名称、正副委員長を決めたほか、(1)取り急ぎ6月定例議会の会期中に『議員報酬の削減案』をまとめる (2)約1年をかけて『次期市議選の定数』や『議会制度全般の見直し』について検討していくことなど、今後の方向性を決定しました。

### 議会制度定数・報酬等検討委員会メンバー

◎ 大滝 盛議員	田上 稔議員
○ 古橋 修一議員	柴 恵 議員
高橋 昇議員	大瀧 和弘議員
上野 玄一議員	大根田幹夫議長
齊藤 重一議員	中村 かずひこ
鈴木 俊夫議員	(◎、○は正副委員長)

## 議員報酬 20%削減を決定

— 議員定数削減 5.7名分に相当 —

平成20年秋以降の世界同時不況などによる税収減や、今年3月11日に発生した東日本大震災後の市民生活を考慮し、真岡市議会は7月から議員報酬を20%削減することとなりました。

期間は原則として今任期中(4年間)としつつも、経済動向などを見極めるため、各年度ごとに議員報酬に関する条例を改定していく方法をとります。

なお、今回の報酬削減によって、1年間で3,742万円の歳出抑制が図られることになり、これは議員定数の削減に換算すると5.7名分に相当します。



### 【参考資料】他の議会における報酬削減の動き

5%	栃木県議会・芳賀町議会
6%	宇都宮市議会
10%	茂木町議会・市貝町議会
15%	益子町議会



### 緊張!の初議長役

## 6月定例議会 質疑・一般質問

### 一口メモ

今回初めて議長の職務を行いました。いざ議長席に座ってみると…。議論が白熱して質問内容とは違う話題に逸れた際に注意を促すなど、『即座の判断』が求められる場面が想像していた以上に多く、緊張の連続でした。

議事進行の中で特に混乱はなかったと考えておりますが、議長役としてもう少し冷静に立ち振る舞うこともできたのではないかと反省しております。

6月定例議会の質疑・一般質問が13日(月)、14日(火)の2日間にわたって行われ、11名の議員が震災に関する課題を中心に執行部との論戦を展開しました。

なお、中村は13日の午後と14日の午前中に議長役を務めました。



「見逃した」という方に  
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜32号までを見逃された方は、お気軽にご相談下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

10月23日(日)

次回の「中村かずひこ通信」は発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



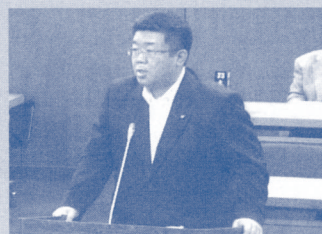


# 私の政治活動費

「政治活動には一体どのくらいお金がかかるものなのか？」この疑問は私が議員になる前から抱いていた疑問です。これまで同様、この1年間（平成22年5月1日～平成23年4月30日）にかかった私の政治活動費をご報告します。

項目	金額	備考
印刷・広告費	1,532,233円	『中村かずひ通信』発行(年4回)、リーフレットなど
ホームページ更新料	145,000円	
書籍・資料購入費	106,745円	D-fileなど
研修参加費	96,700円	清溪セミナーなど
交通費	27,760円	個人視察時の交通費
食料費	10,080円	市政報告会時の茶代など
コピー代	6,120円	
通信費	56,910円	郵送料
文具費	8,845円	封筒、ノート
家屋費	360,000円	事務所家賃
光熱水費	45,186円	水道料、電気料
その他	4,995円	公民館使用料、振込手数料など

総額 **2,400,574円**



皆様からご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載しました。

## コラム らーむあっぴ

今回の6月定例議会において、議員報酬を20%削減する条例改正案が可決。7月1日をもって施行された。

平成20年秋以降の世界同時不況や昨今の円高基調などによる収減、さらに3月11日に発生した東日本大震災によって市民生活に及ぼしている影響を考慮し、『市議会としてもこの難局に際して自ら痛みを請け負う』という思いからこうした行動をとった。加えて、4月に行われた市議選において、定数削減をしなかったことについて、市民からの批判の声は非常に大きいものがあった。大根田議長と副議長の私としては議論を始める前段階として『15～20%の削減をしなければ…』という思いだった。結果としてその方向で決着がついたことについては安堵している。

無論、削減幅が20%に決定するまでには、それなりの紆余曲折があった。各会派や当選期別の代表で構成される『議会制度定数・報酬等検討委員会』でも、5～30%まで様々な報酬削減案が出された。20%という調整案が示された後も、議員の間に異論がなかった訳ではない。

正直に言えば私自身、市議会のあるべき姿としては『大幅に人数を削減する代わりに報酬を引き上げてプロ集団化を進めるべき』と考えている(実際、選挙前に行われた新聞社のアンケートにもそう答えている)。そうならば選ばれる際の緊張感も高まるし、何より行政側と向き合って議論するためには、もっと議員活動に専念できる環境を整えなければならないと感じている。だから、やみくもな報酬削減には異を唱える立場である。

しかし、今日の非常時にあっては、理想の姿を追求することを最優先

報酬削減…  
そして、その先へ

に考えることは極めて難しいように思える。震災後の市民生活を横目で見ながら『市民の皆さん頑張りましょう』『我々議員は頂けるものはしっかり頂きます』という理屈が果たして通用するだろうか。

最近、大阪府や名古屋市などで、首長側から『議会改革案』が示され、ブームともなっている。その内容については『首長が暴走した際には歯止めが利かなくなる』『議会の存在意義が失われかねない』と専門家や議会関係者から批判の声も多い。私も内容は賛同できないし、それに嬉々として飛びつく議員がいることにも首をかしげたくなる。しかし、それら改革案に対して有権者の間で強い支持が生まれているのは、議会側に元々あった『空気の読めなさ感』が大きな原因としてあるように思えてならない。昨今、議会制度に首を絞めているのは、議員自身であるということをお我々も肝に銘じる必要がある。

そうしたことから、議員自らが痛みを伴った報酬削減に今回踏み切ったことは大きな意味がある。難しい話し合いをまとめられた『議会制度定数・報酬等検討委員会』の大滝盛委員長と古橋修一副委員長、そして議員各位に心から感謝と敬意を表したい。

しかし、ここで満足してはいけない。『議員定数の問題』、さらには各地の議会でも課題となっている『議会基本条例の制定』『通年議会の開催』『質問時の一問一答方式の導入』『各種メディアをも活用した開かれた議会づくり』など、諸々の議会制度改革についても、今後しっかりと議員間で議論を深めていきたいと思っている。



## 中村かずひの活動日誌

4月	5月	6月	6月
2日 大谷福寿会総会	9日 議員協議会	2日 質疑・一般質問調整会議	20日 建設常任委員会
3日 『伊夜日子会』奉仕作業	10日 会派間協議	3日 いちごてれび取材(正副議長インタビュー)	議員協議会
大谷地区総会	11日 臨時議会	芳賀地区広域行政事務組合臨時議会	21日 『ひばりの会』定例会
大谷地区『わかば会』総会	12日 正副議長就任あいさつ回り	『伊夜日子会』奉仕作業	湯澤英之・鹿沼市議と面会(於:鹿沼市)
4日 真岡青年会議所総務委員会	16日 正副議長就任あいさつ回り	6日 議員協議会	22日 会派代表者会議
5日 『ひばりの会』定例会	17日 会派代表者会議	6月定例議会開会	議会運営委員会
11日 あいさつボランティア	議会運営委員会	議会制度定数・報酬等検討委員会	議員協議会
15日 真岡地区遺族会総会	18日 任期満了に伴う感謝状贈呈式	さくらを詠む会	6月議会閉会
16日 『伊夜日子会』総会	22日 真岡青年会議所総務委員会	9日 真岡青年会議所総務委員会	市議会だより編集委員会
17日 真岡市議会議員選挙告示(運動期間:4/17~23)	23日 守鐵社祭	10日 日本青年会議所会頭公式訪問(於:宇都宮市)	1~3期議員有志勉強会
18日 あいさつボランティア	24日 あいさつボランティア	12日 真岡西中学校スポーツフェスティバル	真岡青年会議所例会
19日 『ひばりの会』総会	25日 真岡市商店会連合会通常代議員総会	12日 『地方自治を学ぶ会』研修会(於:宇都宮市)	24日 真岡地区遺族会役員会
市貝町議会議員選挙の応援	真岡新聞音訳作業(『ひばりの会』の活動として)	13日 あいさつボランティア	27日 あいさつボランティア
24日 真岡市議会議員選挙投・開票	広域ごみ処理施設整備に関する研修会	質疑・一般質問1日目(午後・議長役)	28日 真岡青年会議所総務委員会
25日 あいさつボランティア	芳賀郡市議長会	質疑・一般質問2日目(午前・議長役)	29日 芳賀地区広域行政事務組合臨時議会
当選証書付与式	30日 大谷地区婦人防犯防火クラブ総会	議会制度定数・報酬等検討委員会	とちぎローカルネットワーク『野嵐会』(於:鹿沼市)
	あいさつボランティア	15日 真岡青年会議所総務委員会	30日 関東若手市議会議員の会役員会(於:東京都新宿区)
	会派代表者会議	17日 民生産業常任委員会	部課長歓送迎会
	議会運営委員会	19日 真岡市消防団夏季点検・消防操法大会	
	28日 栃木県市議会議長会(於:小山市)	真岡市消防団第3分団第1部優勝祝賀会	
	31日 シルバー人材センター総会	20日 あいさつボランティア	
5月			
2日 あいさつボランティア			
8日 明治大学校友会栃木県支部総会			
9日 あいさつボランティア			



# 市民の皆様、市議会を傍聴してみませんか。

これまでの議員生活の中で、市民の皆様に議会傍聴をお呼びかけしたところ、『市議会って、どこでやっているの?』というご質問を度々受けてきました。そこで今回は、市議会の傍聴席までの行き方をご紹介します。

## 【①】市役所へ到着



本庁舎の北側から入る場合、西玄関からお入り下さい。

## 【②】案内カウンターの右側を…



案内カウンターを横目で見ながら、右側の自動ドアを通り抜け…

## 【③】収税課&国保年金課



1階の収税課(右側)と国保年金課(左側)の間の通路を進みます。

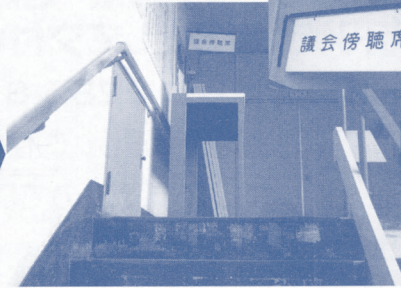
広い駐車場のある南側の通用口から入ると、さらに便利です。

## 【④】案内板発見!



さらに進むと、『議会傍聴席』の案内板が見えてきます。

## 【⑤】階段を昇ると…



案内にしたがって階段を昇ると、左手が傍聴席です。

## 【⑥】議場到着!



傍聴席は約50名分の座席が用意されています。

### <議会に関するよくある質問>

Q:議会っていつ頃行われているの?  
A:定例議会は2月・6月・9月・12月のそれぞれ1ヶ月間行われています。

Q:傍聴に行きたいけれど、何時に行けばいいの?  
A:基本的に議会は、午前10時から開かれます。(傍聴の途中での入室・退室は可能です。)

Q:そもそも、何が傍聴できるの?  
A:議場で行われる本会議のほか、委員会を傍聴することができます。(当然のことですが、無料で傍聴できます。)

●議会の傍聴に関するお問い合わせは  
議会事務局  
0285-83-8176 まで

## 各種の減免制度等について

### ●所得税の雑損控除(問い合わせ 税務課市民税係 ☎0285-83-8113)

災害などで生活用資産(住宅、家具、塀、墓等)に損害を受けた場合、確定申告で課税される所得から一定の条件のもと損失額などを控除できる制度があります。

### ●固定資産税の減免制度(問い合わせ 税務課固定資産税係 ☎0285-83-8114)

災害により建物の著しい損害(全壊、崩壊等で大規模な修理を必要とする場合)を受けた場合、固定資産税の減免制度があります。ただし、一部損壊の建物、課税対象外の塀などは減免の対象にはなりません。

### ●介護保険料・介護サービス料の減免制度(問い合わせ 介護保険課介護保険係 ☎0285-83-8094)

震災により被害を受けた損害金額(保険金、損害賠償等により補てんされる分は除く)が、住宅などの価値の10分の2以上となる場合、『介護保険料の減免・徴収猶予』『介護サービス料料用の減免』の各種制度があります。

### ●後期高齢者医療の一部負担金免除証明書(問い合わせ 国保年金課高齢者医療係 ☎0285-83-8593)

住宅が半壊以上の被害を受けた方は、医療機関等で、一部負担金等(窓口負担)の免除が受けられます。その際は、窓口で『一部負担金等免除証明書』の提示が必要になりますので、交付手続きを行ってください。

### ●住宅等災害復旧資金利子補給金(問い合わせ 建設課住宅係 ☎0285-83-8694)

市内の金融機関から住宅等改修資金の融資を受ける場合、500万円の2%を限度として、借入日から7日間、その利子を市が助成します。

### ●中小企業等災害復旧資金利子補給金(問い合わせ 商工観光課商業係 ☎0285-83-8643)

県の「東北地方太平洋沖地震緊急対策資金」を対象に、最長10年間、8,000万円の1.4%を限度として、その利子を市が助成します。

## アンケートにご協力をお願いします

「震災に関する市民アンケート」皆様のお声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函  
(投函する際、切手は不要です。)

郵便はがき

3 2 1 - 4 3 9 0

料金受取人払

真岡支店承認

9

差出有効期間  
平成25年7月  
19日まで  
(切手不要)

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行

## 市政アンケート

差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

お名前	
ご住所	(〒 - )
お電話	
Eメール	



# 特集

# 震災関係の情報について

3月11日に発生した東日本大震災。その後、市民の皆様から数多くのご質問が寄せられました。そこで今回は、現時点での市の取り組みなど震災関係の情報を特集でお伝えいたします。

真岡市の家屋被害状況  
(7月7日現在)

全壊… 11棟  
半壊… 115棟  
一部損壊…13,487棟

## り災証明書について

地震保険等の請求や、金融機関等で住宅復旧工事の融資等を受ける場合に、「り災証明書」の提出を求められることがあります。

【発行場所】 **一般家庭** 真岡市役所1F 安全安心課 ☎0285-81-9595

**事業所** 真岡市役所福祉・産業部棟2F 商工観光課 ☎0285-83-8643

## 災害見舞金について

市が実施した住宅被害認定調査で『一部損壊』と認定された世帯(対象のご家族には、すでに通知が送付されています)には、1万円が見舞金として交付されます。

【申請場所】 教育委員会棟1F(附属体育館 隣) ☎0285-81-9062

【申請書類】 ①災害見舞金交付申請書 ②預金通帳の写し ③住宅の修理代が5万円以上の領収書の写し

【留意点】 申請は損壊部分の修理後にしか行えませんのでご注意ください。←

【期限】 平成25年3月29日まで

## がれき・ごみについて

震災により壊れたがれき類(大谷石、ブロック、瓦、ガラス)について、臨時置き場を開設しています。

【置き場】 旧コンピュータ・カレッジ(1ヶ所になりました)

【次回開設日】 8月6日(土)、7日(日)、8日(月)のそれぞれ午前9時~5時

### <ごみの減量について>

震災により、清掃センターの焼却処理能力が大幅に低下しているため、ごみ処理作業が追いつかず、他市に依頼をしている状況です。生ごみの水切りや雑紙分別化を徹底させ、ごみの減量・抑制にご理解とご協力をお願いします。

## 震災に関する市政アンケート

問1. 震災以降の生活で困ったことはなんですか?

[ ]

問2. 災害に関するニュースや情報はどのような方法で入手しましたか?

[ ]

問3. この度の震災における、真岡市の対応にはどのようにお感じですか?  
5段階評価で該当する数字に○をつけてください。

1.非常に不満 2.不満 3.普通 4.満足 5.非常に満足

問4. 「問3」でお答えになった理由は何ですか?

[ ]

問5. その他、この度の震災について思うことがあればご自由にお書きください。

頂いたご意見は全て拝見し、今後の活動に活かしてまいります。  
ご協力ありがとうございました!

## 環境放射能の調査結果

### 【市内小・中学校の放射線量測定結果】

- 実施日 6月27日(月)・28日(火)
- 測定方法 小学校は地上から50cm、中学校は地上から1mの高さの空間放射線量率測定
- 測定場所 各校の校庭5ヶ所にて測定
- 結果 (単位は全て $\mu\text{Sv/h}$ )

学校名	測定した5ヶ所の平均値	最小値~最大値
真岡小	0.104	0.09~0.12
真岡東小	0.094	0.09~0.11
真岡西小	0.104	0.09~0.12
亀山小	0.094	0.09~0.11
大内中央小	0.098	0.09~0.11
大内東小	0.092	0.09~0.10
大内西小	0.098	0.09~0.12
山前小	0.104	0.09~0.11
山前南小	0.104	0.09~0.12
西田井小	0.108	0.09~0.12
東沼小	0.110	0.09~0.12
中村小	0.100	0.09~0.11
中村東小	0.100	0.09~0.11
中村南小	0.096	0.09~0.12
長田小	0.096	0.09~0.12
長沼小	0.106	0.09~0.12
久下田小	0.090	0.09~0.09
物部小	0.106	0.09~0.12
真岡中	0.094	0.09~0.11
真岡東中	0.100	0.09~0.11
真岡西中	0.094	0.09~0.11
大内中	0.090	0.09~0.09
山前中	0.094	0.09~0.11
中村中	0.098	0.09~0.11
長沼中	0.106	0.09~0.12
久下田中	0.090	0.09~0.09
物部中	0.106	0.09~0.12

### 【環境放射能の調査結果(7月7日の時点)】

- 真岡市内(荒町・栃木県庁芳賀庁舎)にて測定した空間放射線量率は、  
7月7日午後2時現在  $0.05\mu\text{Sv/h}$

震災後の最小値  $0.01\mu\text{Sv/h}$  (6月11日午後2時他2回)

震災後の最大値  $0.26\mu\text{Sv/h}$  (3月17日午後3時)

- 真岡市の4つの浄水場の水道水について放射能検査を行ったところ、7月7日現在、放射性ヨウ素・放射性セシウムともに検出されていません。

※なお、空間放射線量率は県が毎日1時間ごと(午前8時~午後6時に)調査し、浄水場の水道水については、市が月・木曜日に調査をしています。

- 栃木県では放射能に関する健康相談を行っています。  
詳しくは県東健康福祉センター  
【☎0285-82-3321】まで。

各種の減免制度等については  
中面に掲載しております。